

「早寝早起き朝ごはん運動」



入賞者のみなさん



【50音順】

🌸「我が家の標語」部門

安宅小学校	1年	海老	ひなた	さん
安宅小学校	1年	田中	逸暉	さん
符津小学校	2年	中村	一翔	さん
蓮代寺小学校	4年	谷鋪	聡太	さん
国府中学校	1年	山崎	布由佳	さん



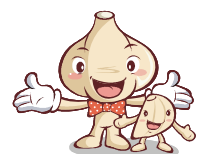
🌸「我が家の朝ごはん」部門

日末小学校	2年	倉下	真一	さん
苗代小学校	5年	小橋	穂乃佳	さん
国府中学校	1年	澤田	果歩	さん
安宅小学校	4年	西澤	舞	さん
安宅小学校	5年	村上	裕哉	さん



🌸「ポスター・絵画」部門

符津小学校	3年	天池	舞桜	さん
安宅小学校	4年	西澤	舞	さん
第一小学校	5年	埴田	明里	さん
東陵小学校	5年	山口	雄太	さん



🌸「地域活動功労者」部門

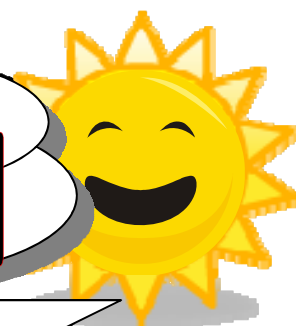
上本折町 公民館	代表	越田 浩司	さん
滝ヶ原町 公民館 (子ども会)		川端 淳一	さん



各部門の募集において多数の方々から応募をいただき、ありがとうございました。

応募いただいたすべての作品は、12月14日から12月18日まで小松市役所1F エントランスに掲示致します。

「早寝早起き朝ごはん運動」



小松市民大会

平成21年11月29日(日) 13:30~

小松市民センター 大ホール



次第



開会あいさつ



生活習慣チェックシート結果報告



表彰式



「我が家の標語」部門



「我が家の朝ごはん」部門



「ポスター・絵画」部門



「地域活動功労者」部門



講演会

演題：『もったいないが食育の基本』

講師：森野 熊八 氏 (料理人)



閉会あいさつ

小松市立学校PTA連合会 / 小松市早寝早起き朝ごはん運動実行委員会
小松市 / 小松市教育委員会

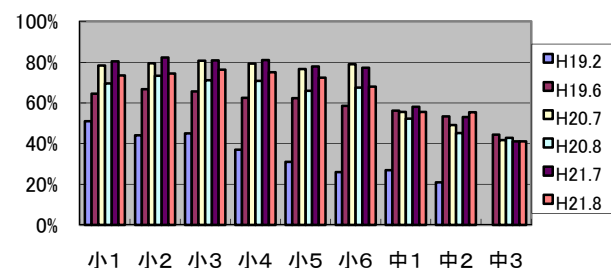


生活習慣チェックシート 結果報告



生活リズム

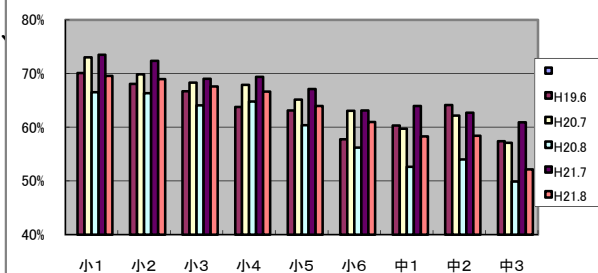
朝6時30分までに起きた人の割合



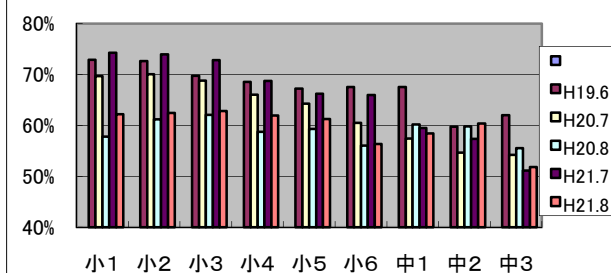
どの学年も早起きを心がけるようになってきているが、中学生はラジオ体操がないため、朝早く起きることができない。中学生は部活動等があるため、毎日を規則正しく生活していると思うが、早起きするための対策が必要である。小学生においても、ラジオ体操に参加していない児童が約2割もいるということを真剣に考え、家庭・地域での啓発が必要であると思われる。

就寝時間の目標を達成できた人の割合

目標の就寝時刻は個々によって違いがあると思われるが、どの学年も早起きを心がけるようになってきている。家庭内での約束や学校での生徒指導が浸透してきているのではない。小学生ではラジオ体操が終了した後半でも昨年に比べ割合が高くなっているのは、夏休みを通して一定のリズムで生活しようと心がけている子どもが増えていると考えられる。



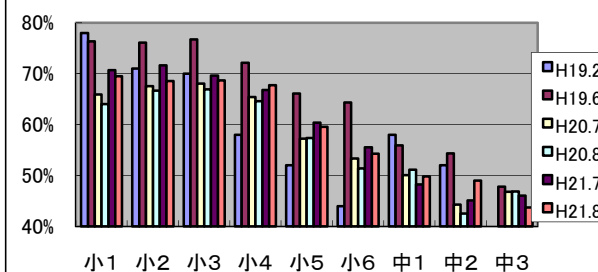
家庭学習の目標を達成できた人の割合



小学生はどの学年も昨年に比べ割合が高くなっていてよい傾向にある。各学校において、学年の実態に応じた課題が出されていると考えられる。中学1、2年生が昨年とほぼ同じ割合であるが、受験をひかえている3年生が低くなっているのが気になるが、目標時間を高く設定しているのではないかと考えられる。

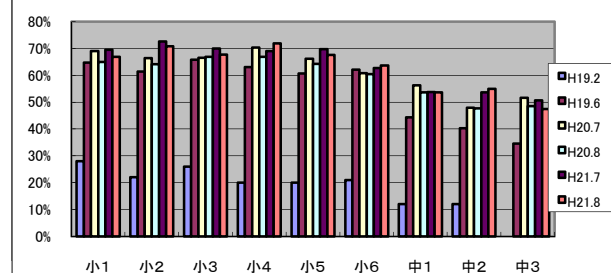
メディアの時間が2時間以内だった人の割合

昨年に比べ守ることができた子どもの割合がわずかではあるが高くなった。また、夏休み期間中で時間にゆとりがある割には、高い数値であると思われる。学年が上がるにつれ低くなっているのは昨年と同じ結果であったのは、パソコンの活用に関係していると考えられる。



規範・ルール

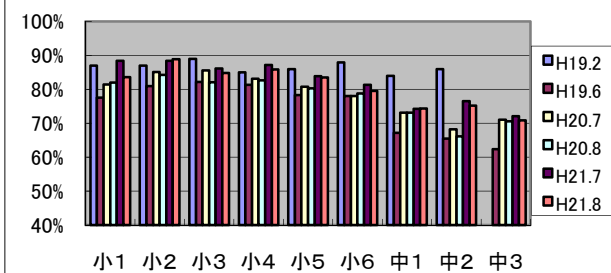
家の手伝いをした人の割合



H19.2の調査では、手伝いをする子は大変少なかったが、全体的にどの学年の子どももお手伝いをするようになってきている。親も子ども家族ということを考え、全員で良い家庭を築こうという意識が育ってきているのではないだろうか。

食と団らん

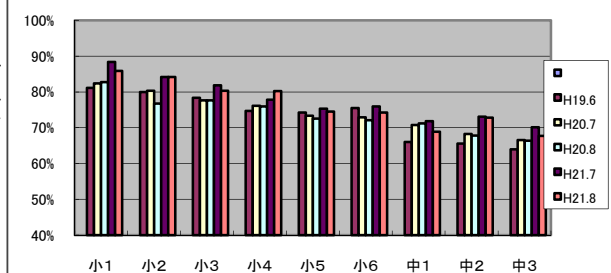
朝食を＜主菜＋副菜＞で食べた人の割合



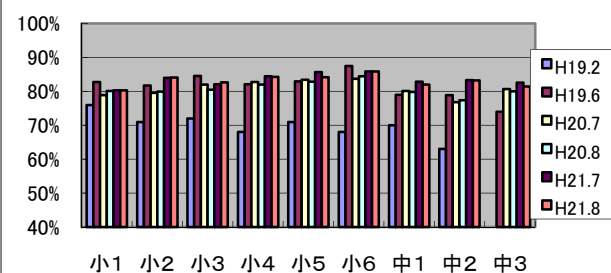
前半・後半に関係なく、昨年に比べしっかりと食べる子どもが増えた。各家庭で食の大切さが浸透してきているといえる。H19.2の調査内容は「朝食を食べますか」であったが、H19.6からは「朝食を主菜＋副菜で食べていますか」という内容に変えたため。最初に比べて割合は低くなっているが、しっかりと朝食を採るようになってきている子どもが増えてきている。

1日1回以上家族そろって食事をした人の割合

H20とH21を比べると、全体的に昨年よりも家族そろって食事をする割合が高くなった。親も子どもと一緒に食べようとする意識を持ち、家族の会話を大切にしようとしているのではないかとと思われる。小松市の家庭は全国に比べかなり高い割合を示している。



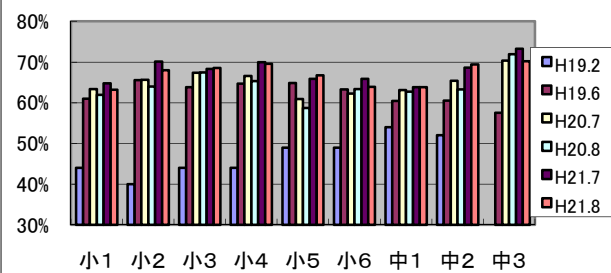
好き嫌いなく食べた人の割合



全体的によい傾向にある。各家庭で食材を工夫して調理し、味と栄養のバランスを考えて作るようになったことと、学校で食育に力を入れて取り組んでいるからと考えられます。

自主・自立

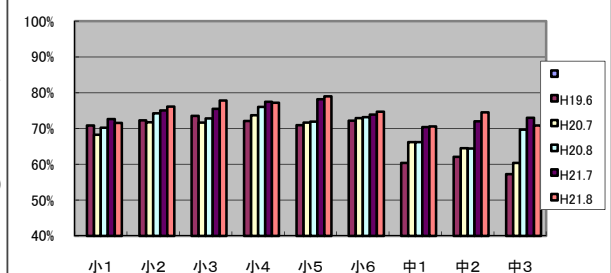
朝、自分で起きた人の割合



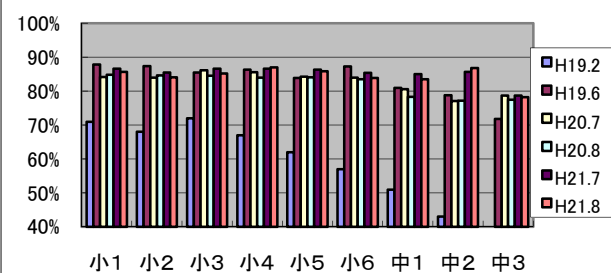
どの学年も昨年に比べ、自分で起きることができた割合は高くなっているが、6時30分までに自分で起きることができない児童が10～15%いる。中学生は自分で起きることができる人の割合は小学生とあまり変わらないが、ラジオ体操がないため、6時30分までに起きることができる生徒は約半数である。（調査1参照）

自分で食器を後片付けしている人の割合

どの学年も昨年より自分で後片付けをする子どもが増えた。特に中学生は伸び率が高く、後片付けができるようになった。各家庭で約束、きまりを作っていることと、家族の一員であるという自覚を持つようになり、家族のためという意識が育ってきているのではないかと。



あいさつ（オアシス）がきちんとできた人の割合



昨年に比べ、どの学年もあいさつができるようになってきている。ただ、グッドマナーキャンペーンにおける反省から、中学生は高校生に比べ元気がないという指摘を受けている。あいさつは一朝一夕で身に付くものではないので、まずは家庭から声かけをし、地域の人にも明るく声をかけていくことが大切である。